

企画競争実施結果

令和6年7月24日
 経済産業省大臣官房福島復興推進グループ福島広報戦略・風評被害対応室

事業名：ALPS処理水による風評影響の抑制に向けた水産物の販路拡大事業（1）水産物の魅力発信・消費拡大事業①

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
株式会社STARBASE	5010401131875	100,000,000

(提案事業者名)
 ①株式会社STARBASE

(審査委員属性)
 独立行政法人 課長
 公益社団法人 副チーム長
 大学教授
 ※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
株式会社STARBASE	189	148	170	507

提案事業者名	提案書の記載内容	事業の実施方針等	組織の経験・能力等	業務従事者の経験・能力	事業に要する経費	合計
株式会社STARBASE	適	210	129	119	49	507

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
株式会社STARBASE	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様の趣旨を理解し、分かりやすく企画提案がなされていると評価できる。 ・事業期間終了後の継続的な展開についても言及されている。 ・自社の強みを生かした若年層向けや無関心層オリジナルコンテンツを活用した直感的な提案となっている。また、デジタルPRを通じた話題作りなどターゲット層の消費掘り起こしを企画している。 ・デジタルコンテンツの作成期間設定、公開時期想定など個々の作業を全体会議で調整するなど適切なスケジュールを設定している。 ・本業の高い専門性を生かし、楽曲プロデュースや映像制作などの知財を有している。 ・アーティストや大手企業などのプロデュースを手掛けており、同様の事業を多数実施していると思料。 ・事業遂行のため、協力企業との役割分掌や社内管理体制も十分に配分されている。 ・社内の実施体制を組織表に表しており、協力企業の役割も明示するなど充分な実効体制が示されている。 ・緊急時の管理体制などを組成している。 ・事業を実施するための社内の人材や知財を確保して事業を実施しているが、本事業に関連する事例は少ない。 ・コンテンツ制作費用を社内の知財により費用削減し、広報費用を拡充するなどバランス型の経費横算となっていると思料。